

とについて、議会に対し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。



館林市総合地方卸売市場

条例の廃止

▽館林市公平委員会設置条例を廃止する条例
公平委員会の事務を本年4月1日から、群馬県市町村公平委員会において共同処理することに伴い、本条例を廃止しようとするもので、全員一致で可決されました。

専決処分

▽専決処分の承認を求めることについて(令和3年度館林市一般会計補正予算(第7号))
新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を専決処分し、地方

自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

▽専決処分の承認を求めることについて(令和3年度館林市一般会計補正予算(第8号))
新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を専決処分し、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

補正予算

▽令和3年度館林市一般会計補正予算(第9号)
2億7680万7000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ328億8837万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和3年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
11億139万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ77億4912万1000円とするもので、全員一致で可

決されました。

▽令和3年度館林市介護保険特別会計補正予算(第2号)
11億6280万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ70億2893万円とするもので、全員一致で可決されました。

令和4年度予算

令和4年度予算は、第6次総合計画に掲げた将来都市像「里沼の息づく 次世代へ安心をつなぐ 暮らしやすいまち 館林」を実現するため、第6次総合計画基本構想における5つの基本目的である「危機対応能力が高く、良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち」、「地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち」、「育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち」、「都市と自然が調和し 人と産業が躍動する魅力あるまち」、「公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち」に沿った事業を推進す

るとともに、新型コロナウイルス感染症への対応を図りながら、「少子化対策・子育て支援」、「産業振興」、「まちなか活性化」を重点項目に掲げ、また、市役所が市最大の変化対応サービス業であるとの考えの下、時機に応じた市民ニーズを的確に捉えながら、中長期的な視点で、事業・施策の費用対効果の検証、スクラップアンドビルドによる抜本的な見直し及び優先順位の再検討を行い、予算編成に取り組み、一般会計予算の総額は294億8000万円、前年度比0・5%の増となっています。

また、特別会計(下水道事業会計を含む4会計)予算の総額は、190億6192万9000円、前年度比3・9%の増となっています。(詳細については4ページに掲載)

議員提出議案

▽ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議
全員一致で可決されました。

【全文】2022年2月24日、ロシアはウクライナへの侵略を開始した。このことにより、民間人を含む多くの死傷者が発生するなど、各国から非難の声が相次いでいる。

このようなロシアの行動は、武力の行使を禁ずる国連憲章の重大な違反である。また、ロシア大統領が、核兵器の使用が可能となる特別警戒態勢を命じたとの報道があるが、核兵器の使用や威嚇は、国際法上、決して許されない。

こうした行為は、唯一の核被爆国として、また、昭和63年12月に「非核平和都市宣言」を制定している館林市の議会として、断じて容認できない。

よって、本市議会は、ロシアによる軍事的暴挙を強く非難し、ウクライナへの攻撃の即時停止と、完全撤退を強く求めるものである。以上、決議する。

令和4年3月7日
館林市議会